

電動サイレントタイプ(SES) 取り扱いおよび設置説明書

このたびはスタイリストスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

安全上の注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表わしています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表記しています。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表しています。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

目次

安全上のご注意	1
本機の特長	2
各部の名称と働き及び付属品	3～4
仕様及び寸法図	5～6
スクリーン取り付け方法	7～9
接続する方法	10
スクリーンの使い方	11
スクリーン本体をとりはずす方法	12
スクリーンのテンションを調整する方法	13
電源や照明について	14
スクリーンの停止位置を変える場合	15
トラブル時の対処	16
スクリーン面の取り扱い方法	17
メンテナンスノート	18

Colors

インテリアとして選ぶ “Stylist”

機能にデザインをプラスしたKIKUCHIのコンセプトスクリーン “スタイリスト”

あなたの個性で、また、インテリアとのコーディネートで選べる、4色のケースバリエーション。シアターライフの楽しみが増えました。

Material

❖ WHITE MATTE ADVANCE

- ◎ ピークゲイン : $0.85 \pm 5\%$
- ◎ 半値 : 85°

表面処理に新開発の「ウルトラマイクロ・シボ」を採用しています。優れた解像度と黒からハイライトまでのコントラスト、豊かな色階調を再現。きめ細かく立体感にあふれた映像、自然な色彩表現をハイレベルに調和しています。迷光を抑えた暗室ではクリアで奥ゆきのある高品質な映像を再現します。

❖ GRAY MATTE ADVANCE

- ◎ ピークゲイン : $0.8 \pm 10\%$
- ◎ 半値 : 85°

光を拡散反射するマット系スクリーンは、プロジェクターからの映像光以外にカーテン越しの光や間接照明なども同時に反射して映像を劣化させます。グレイマットアドバンスは、その映像の劣化を軽減し、コントラストのあるナチュラルな映像を再現いたします。

❖ THEATER GRAY ADVANCE

- ◎ ピークゲイン : $1.5 \pm 10\%$
- ◎ 半値 : 15°

ハイライトを維持しながら、浮き気味になる暗部の階調もしっかりと表現します。ナチュラルな肌色を基調とした自然な色再現を可能とし、黒の色再現との調和を確保しています。また、迷光の発生しやすいリビングルームでも、迷光が映像の光に混入することを最小限に抑えることが可能となり、ハイコントラストな映像を再現いたします。

❖ 150PROG ADVANCE

- ◎ ピークゲイン : $1.5 \pm 10\%$
- ◎ 半値 : 30°

近年のプロジェクターの高輝度化とのバランスを重視し、ピークゲインを1.5に抑えています。また、拡散度をあげていますので、広い視覚エリアが確保されます。明るさとダイナミックさがバランスされ、臨場感があり黒階調も的確に再現された鮮明な映像が得られます。

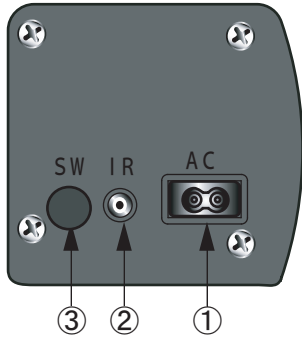
Flexibility

- ・取り付け位置を選ばない自由度の高いスライド方式の採用により、イージーインストールを可能にしました。
- ・今まで気になっていたスクリーン下面のシワを調整ボルトを回すことで容易に解消させるテンションフィッティング機構。スクリーンの平面性がいつもベストコンディションに維持できます。(シワの性質によってはとりきれない場合もあります。)
- ・フロントケースの脱着が容易なスリーピーススプリットケースの採用により、スクリーン生地を交換する場合にはローラーごと取り替えが可能となりました。強度に優れたリアケースのみでの取り付けも容易に行えます。
- ・左側面のケースキャップに電源コードと受光部ユニットを差し込むだけで簡単に赤外線ワイヤレスリモコンでの操作が可能です。
- ・受光部ユニットのコード長は300mmありますので、この範囲内での設置が自由自在。
- ・別途オプションで24V制御スイッチも販売しております。

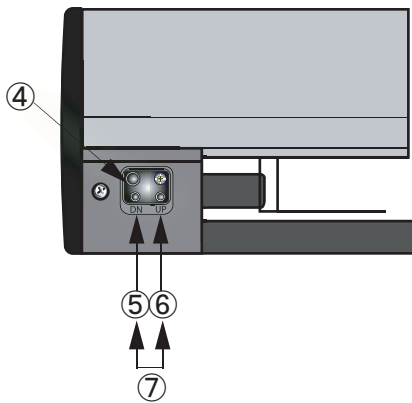
各部の名称と働き

1. スクリーン本体コントロール部

(左側面)

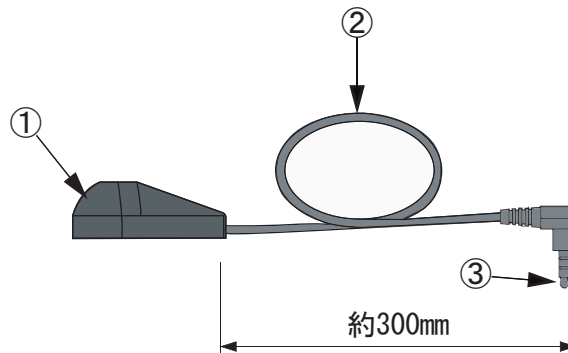
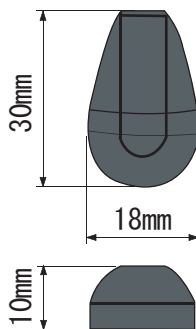


(左下面)



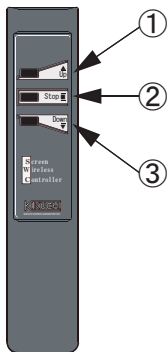
- ① 電源コード用コネクタ
付属の電源コード(スクリーン専用品AC100V用)のコネクタを差し込んで使用します。
- ② 外付赤外線受光器用コネクタ
本体コントロール部と外付赤外線受光器を、ミニピンプラグコードで接続する時に使います。
10ページをご覧ください。
- ③ 外付24V制御スイッチ用コネクタ
オプションで別売している24V制御スイッチをワイヤード仕様でお使いになる時に接続します。
(シールをはがしてお使いください。)
赤外線リモコンをご使用の場合は、使用しません。
- ④ 動作表示ランプ
*赤色点灯：スタンバイ及び停止中
*緑色点灯：動作中
- ⑤ 緊急下降用マニュアルボタン
リモコンが使えない場合(紛失または電池切れ等)にスクリーンを下降させる時に使います。
- ⑥ 緊急上昇用マニュアルボタン
リモコンが使えない場合(紛失または電池切れ等)にスクリーンを上昇させる時に使います。
- ⑦ 緊急停止用マニュアルボタン
マニュアルボタンの⑤と⑥を同時に押しとその位置で停止させることができます。

2. 外付赤外線受光器



- ① 赤外線受光部
- ② ミニピンプラグコード
- ③ ミニピンプラグ

3. リモコン送信機

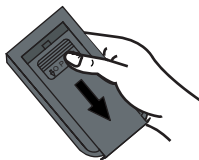


電池の入れ方

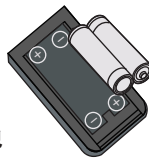
- ① UP(上昇)ボタン
スクリーンが上昇し、ケース内に収納され自動的に停止します。
- ② STOP(停止)ボタン
スクリーンを任意の位置で停止させる時に使います。
- ③ DOWN(下降)ボタン
スクリーンが下降し、設定された位置まで下がり、停止します。
(停止位置の設定については15ページをご覧ください。)

注意 操作中に昇降の動作を逆にする時は、必ずSTOPボタンを押して一旦停止させた後に行ってください。

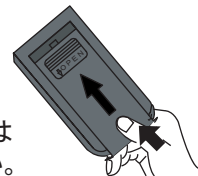
1. 裏ぶたを矢印の方向にスライドさせて開けます。
2. 乾電池を⊕ ⊖ の表示どおり入れます。
3. 裏ぶたを矢印の方向に“カチッ”と音がするまでスライドさせて閉めます。



付属の
単4乾電池
×2本



※充電式 (Ni-cd) 電池は
使用しないでください。



乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂をすることがあります。次の点にご注意ください。



注意

- ・ 使用期限内(乾電池に記載)の乾電池を使用してください。
- ・ 種類の違いを混ぜて使用しないでください。
- ・ ⊕ ⊖ の向き表示どおり入れてください。
- ・ 乾電池は充電しないでください。
- ・ 乾電池を入れたまま長時間放置しないでください。
- ・ ショートさせたり分解しないでください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 使用後、可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたりしないでください。

4. 同梱品の確認

本品にはスクリーン本体と下記の付属品を同梱しています。取り付けの前に内容、必要個数が入っているか確認をしてください。

A. リモコン送信機



単4乾電池2個付

B. 電源コード(スクリーン専用品2m)・1本



※電源コードは、スクリーン専用品です。

C. 外付赤外線受光器(300mm)・・・1台



D. セッティングブラケットセット・・・1式



×2個



×2個



×2本

セッティングブラケット

ブラケットストッパー

ブラケットストッパー
固定用ネジ(M4×20mm)



×4本

取り付け用トラスタッピングネジ(M4×50mm)

E. 両面テープ(予備)・・・1枚



警告

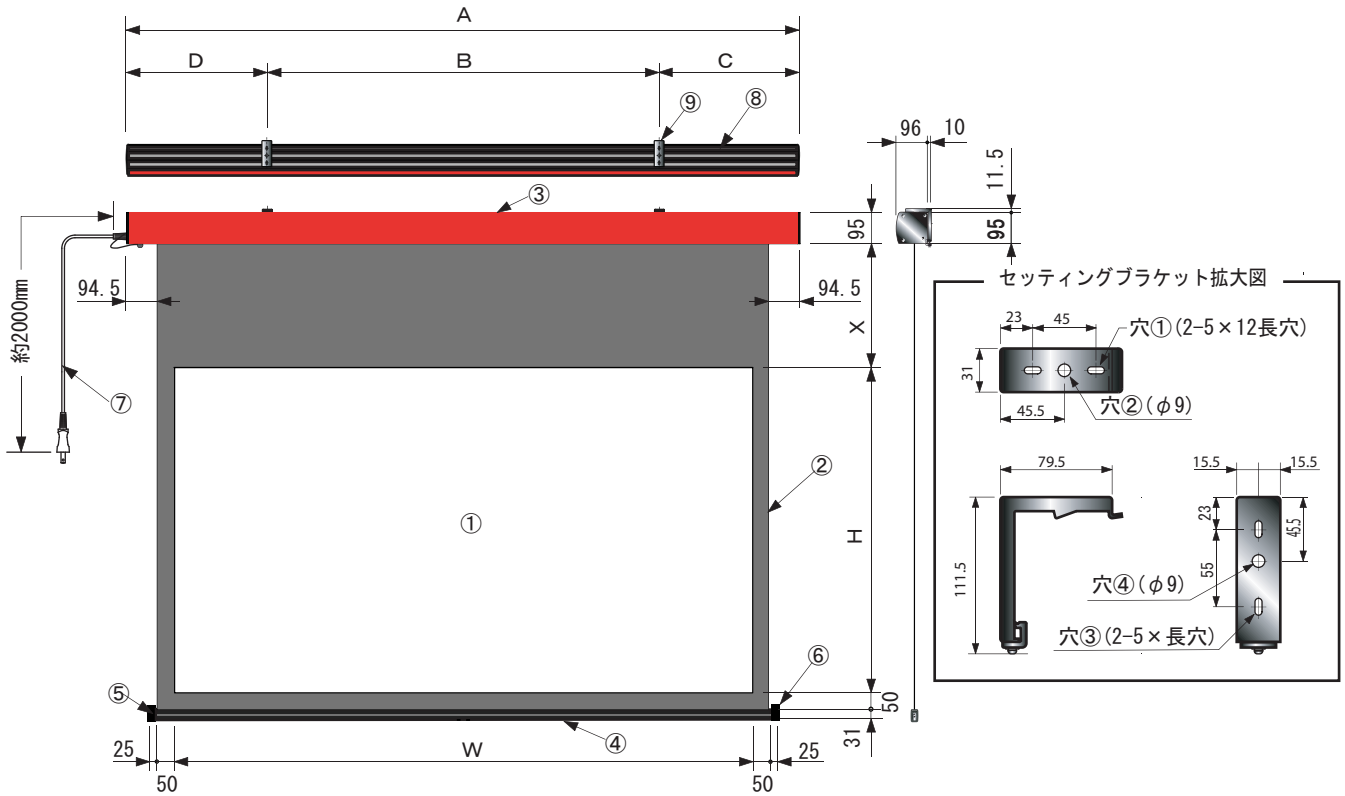
上記設置部品以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。

F. 六角レンチ・・・1本



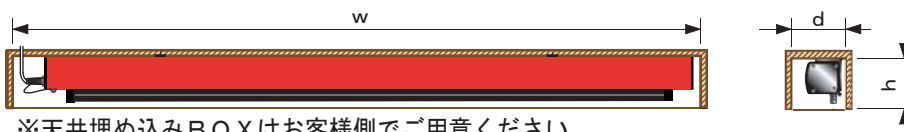
G. 取り扱い及び設置説明書・・・1冊

各部の名称・仕様および寸法



名称	①	スクリーン	④	ボトムバー	⑦	電源コード
	②	マスク	⑤	ボトムキャップ	⑧	リアケース
	③	フロントケース	⑥	ボトムキャップクッション	⑨	セッティングブラケット

天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)



※天井埋め込みBOXはお客様側でご用意ください。

天井埋め込みBOX内寸					
ハイビジョンタイプ			NTSCタイプ		
h	d	w	h	d	w
80HD	141	126 × 2300	80	141	126 × 2200
100HD	141	126 × 2700	100	141	126 × 2600
120HD	141	126 × 3200	120	141	126 × 3000



天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付ける場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141mm(高さ)×126mm(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けすることはできません。(取り付け方法の詳細については7ページを参照ください。)

スクリーン規格一覧表

ハイビジョンタイプ (16:9)
(マットタイプ)

型番		スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け 穴ピッチ	C・D寸法	重量(Kg)		消費電流 /電力
ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス	W(mm)	H(mm)	X(mm)	A(mm)	B(mm)	各々(mm)	ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス	(A)/(VA)
SES-80HDWA	SES-80HDAM	1771	996	500	2060	1200	430	11.7	11.8	0.85/85
SES-100HDWA	SES-100HDAM	2214	1245	400	2503	1400	551.5	13.7	13.8	0.85/85
SES-120HDWA	SES-120HDAM	2656	1494	500	2945	1700	622.5	16.7	16.9	0.85/85

(スーパーグレインビーズタイプ)

型番		スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け 穴ピッチ	C・D寸法	重量(Kg)		消費電流 /電力
150PROG アドバンス	シアターグレイ アドバンス	W(mm)	H(mm)	X(mm)	A(mm)	B(mm)	各々(mm)	150PROG アドバンス	シアターグレイ アドバンス	(A)/(VA)
SES-80HDPG	SES-80HDAG	1771	996	500	2060	1200	430	12.1	12.1	0.85/85
SES-100HDPG	SES-100HDAG	2214	1245	400	2503	1400	551.5	14.1	14.1	0.85/85
SES-120HDPG	SES-120HDAG	2656	1494	500	2945	1700	622.5	17.2	17.2	0.85/85

※取り付け穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

NTSCタイプ (4:3)
(マットタイプ)

型番	スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け 穴ピッチ	C・D寸法	重量(Kg)	消費電流 /電力
ホワイトマットアドバンス	W(mm)	H(mm)	X(mm)	A(mm)	B(mm)	各々(mm)	ホワイトマットアドバンス	(A)/(VA)
SES-80WA	1626	1219	500	1915	1200	357.5	11.2	0.85/85
SES-100WA	2032	1524	500	2321	1400	460.5	13.2	0.85/85
SES-120WA	2438	1829	500	2727	1700	513.5	15.5	0.85/85

(スーパーグレインビーズタイプ)

型番	スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け 穴ピッチ	C・D寸法	重量(Kg)	消費電流 /電力
150PROGアドバンス	W(mm)	H(mm)	X(mm)	A(mm)	B(mm)	各々(mm)	150PROGアドバンス	(A)/(VA)
SES-80PG	1626	1219	500	1915	1200	357.5	11.5	0.85/85
SES-100PG	2032	1524	500	2321	1400	460.5	13.7	0.85/85
SES-120PG	2438	1829	500	2727	1700	513.5	16.0	0.85/85

※取り付け穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

スクリーン取り付け方法



警告

- ◆スクリーンを設置する壁や天井は、100kg以上支えられる強度が必要です。また石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



注意

- ◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。
 - ボードアンカーのみによる施工
 - ALCアンカーによる吊り下げ
 - 天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工
- ◆壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。
 - ボードアンカーのみによる施工
 - 補強下地無しの施工



天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付けする場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141mm(高さ)×126mm(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けすることはできません。

合板の天井または壁に設置する場合



注意 合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

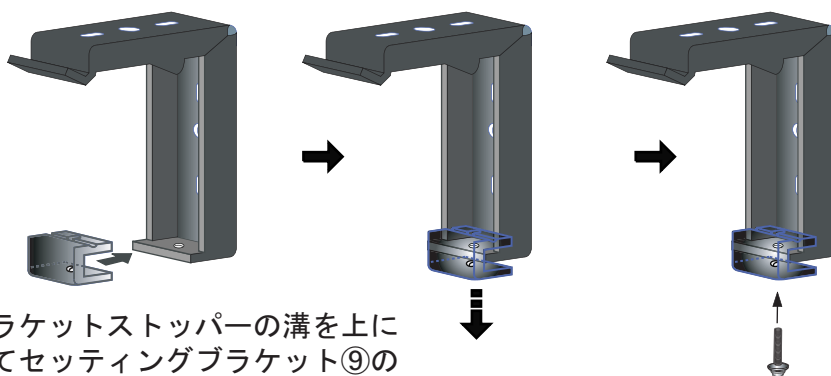
■取り付け場所の確認

本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですが、あらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器^(※)などで確認してください。

(※)推奨機器：パナソニック電気(株)「壁うらセンサー」等

1. 天井にセッティングブラケットを取り付けする場合

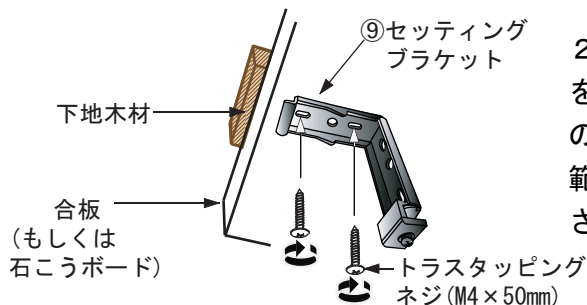
1-1 セッティングブラケット⑨にあらかじめブラケットストッパーを取り付けします。



ブラケットストッパーの溝を上にしてセッティングブラケット⑨の下部に差し込み、一番下まで押し下げてください。

付属の固定用ネジ(M4×20mm)をブラケットストッパーの下からセッティングブラケット⑨の底面のネジ山部をねらって差し込み、+ドライバーで2~3回回して軽く締め付けしてください。

1-2 セッティングブラケット⑨をトラスタッピングネジ(M4×50mm)で穴①を使って天井に+ドライバーで取り付けしてください。



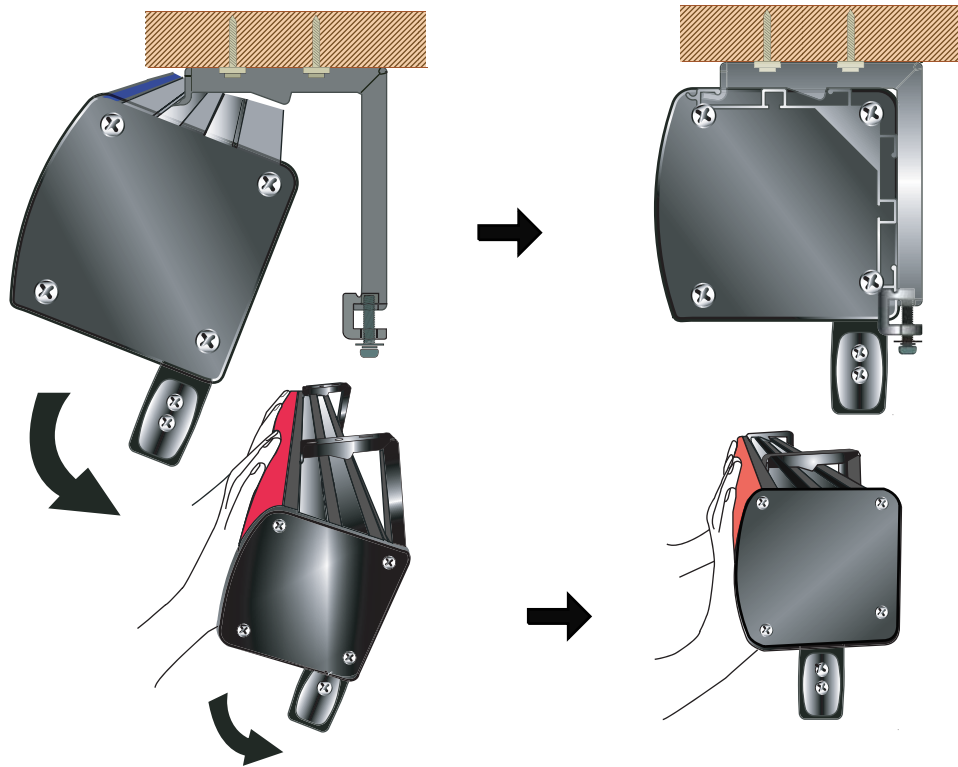
2ヶ所の間隔は6ページの「取り付け穴ピッチB」を参照してください。また「C・D寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定する時の寸法値です。範囲内の数値におさまる様にして取り付けしてください。



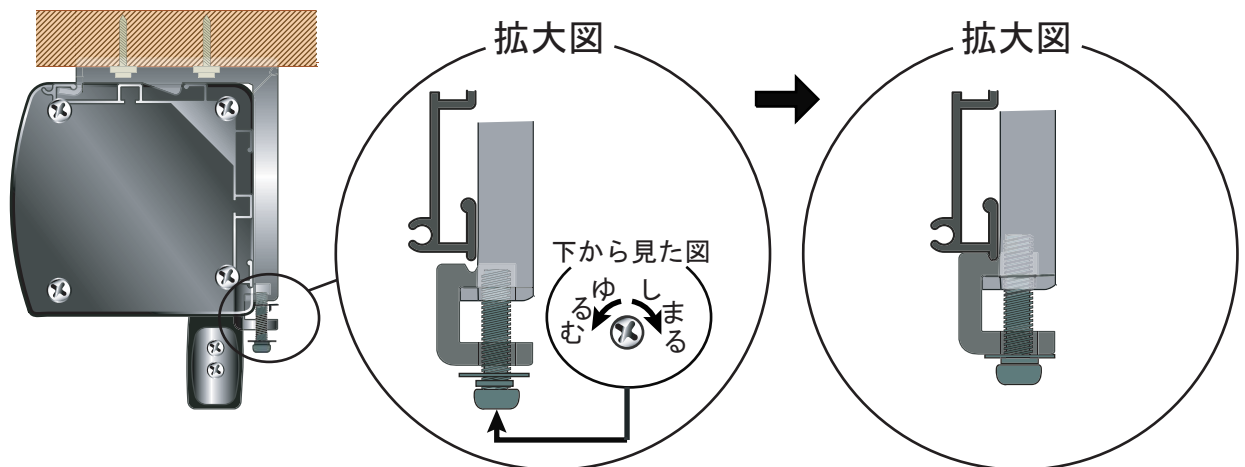
注意

セッティングブラケットは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。セッティングブラケットの平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

- 1-3 セッティングブラケット⑨の先端にリアケース⑧の天井面の前部の溝部を合わせ差し込んでください。完全に差し込みが完了した事を確認したらケース全体を後ろに「ガチャッ」と音がするまで押し込んでください。ブラケットストッパーを完全に固定した状態ではないので、スクリーン本体にガタツキがあります。



- 1-4 押し込みが完了したら軽くフロントケースを押し付けながらリアケース下面の突起とブラケットストッパーの溝部をしっかりと合わせ、ガタツキがなくなるまでしっかりと固定用ネジで締め付けしてください。

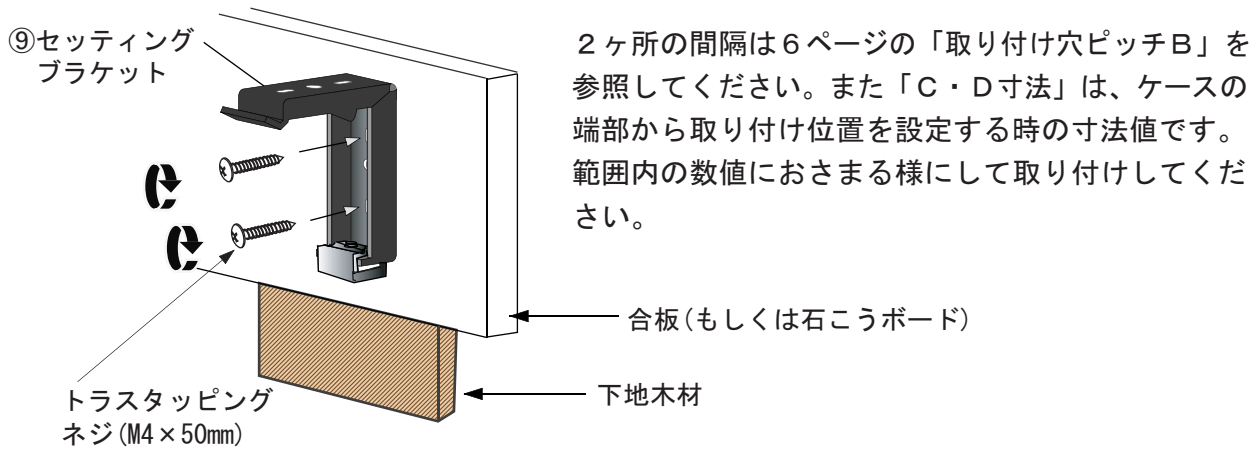


注意

- ・ セッティングブラケットにスクリーン本体を取り付けする時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ ケース溝部への差し込みやブラケットストッパーの締め付けは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

1. セッティングブラケットを使用して壁に取り付けする場合

- 2-1 セッティングブラケット⑨を付属のトラスタッピングネジ(M4×50mm)で穴③を使って壁に+ドライバーで取り付けしてください。



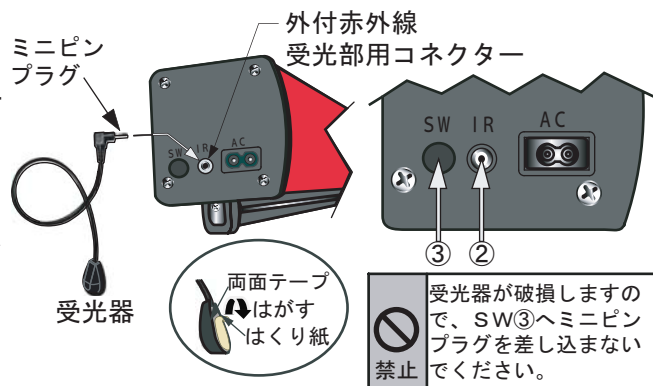
- 2-2 取り付けが完了したセッティングブラケット⑨にあらかじめブラケットストッパーを取り付けします。7ページの1-2の手順でブラケットストッパーを取り付けします。
- 2-3 セッティングブラケット⑨先端にリアケース⑧天井面の前部の溝部を合わせ8ページの1-3の手順で取り付けしてください。
- 2-4 押し込みが完了したら、8ページの1-4の手順でしっかりと締め付けしてください。

受光器等を接続する方法

接続をする前に：

- ・スクリーン本体コントロール部の電源を必ず切った状態で接続してください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は誤動作の原因となります。抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

- ① 外付赤外線受光器を接続する。
左側面にある外付赤外線受光器用コネクター（3ページ、1-②）へ受光器のミニピンプラグを差し込み接続します。
- ② 受光器を貼り付けする。
受光器の裏面には貼り付け用の両面テープを取り付けてありますので、はくり紙を取りさって、ご希望の位置（プラグコードの範囲で）へ強めに押しつけて貼り付けしてください。



注意

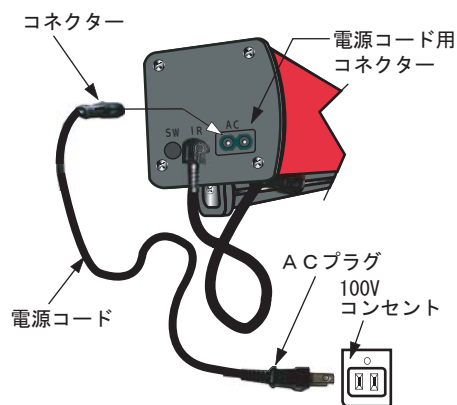
- ・あらかじめ貼り付けする場所の汚れ・水分・油分などをしっかり拭き取ってください。
- ・受信感度の低下や誤動作の恐れがありますので、直射日光の当たらない場所を選んで貼り付けしてください。
- ・場所によっては（表面に大きな凸凹などがある場合）貼り付け出来ない場合があります。
- ・プラグコードの長さは300mmとなっていますので無理に引っ張って貼り付けしないでください。
- ・万一、両面テープの粘着力が無くなりましたら、付属の両面テープと交換してください。

- ③ 電源コードを接続する。
左側面にある電源コード（スクリーン専用品 AC100V用）のコネクター（3ページ、1-①）へ電源コードを差し込み接続します。



禁止

- ・ミニピンプラグの差し込みは、必ず電源コードをコンセントに差し込む前に実施してください。電源がONの状態では抜き差しすると誤動作する恐れがあります。
- ・電源コードに物を強くぶついたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。



※電源コードは、スクリーン専用品です。



警告

1. 長期間ご使用にならないとき（外出や旅行など）は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。



2. 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



3. 電源プラグにほこりがたまるように、定期的に掃除をしてください。電源プラグとコンセントとの間にほこりがたまると火災の原因となります。

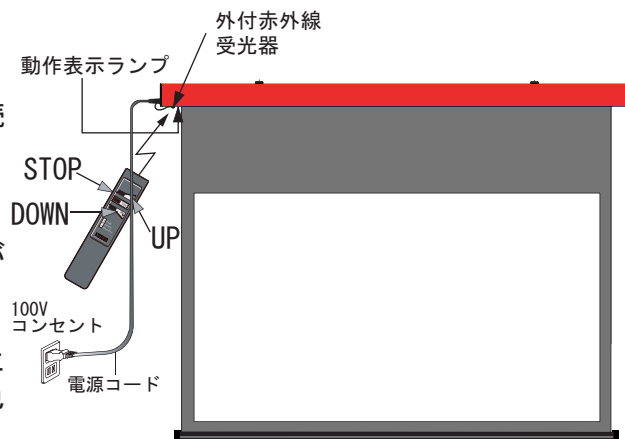


スクリーンの使い方

付属のリモコン送信機を使って操作します。

お使いになる前に

- ・ 外付赤外線受光器と本体コントロール部が接続されていることを確認してから電源コードをコンセントに差し込んでください。
- ・ リモコン送信機に乾電池(単4乾電池×2本)が入っているのか確認してください。
- ・ 電源コードを差し込んだあとに左ケース下面にある動作表示ランプ(3ページ、1-④)が赤色(スタンバイ表示)に点灯しているか確認してください。



※電源コードは、スクリーン専用品です。

1. リモコン送信機を受光部に向けて操作します。

- 1-1 スクリーンを使う時
リモコン送信機の「DOWN」ボタンを押してください。スクリーンが設定された位置まで自動的に下り停止します。
- 1-2 スクリーンを使い終わったら
リモコン送信機の「UP」ボタンを押してください。スクリーンが収納され自動的に停止します。
- 1-3 スクリーンを停止させる時
スクリーンを任意の位置で止める時や緊急に止めたい時は「STOP」ボタンを押してください。ボタンを押した位置で停止します。



動作中に、異常な音や臭いがする場合や、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのACプラグを抜いてください。中止後はただちに取り扱い店にご相談ください。そのまま使用しますと火災や故障の原因となります。

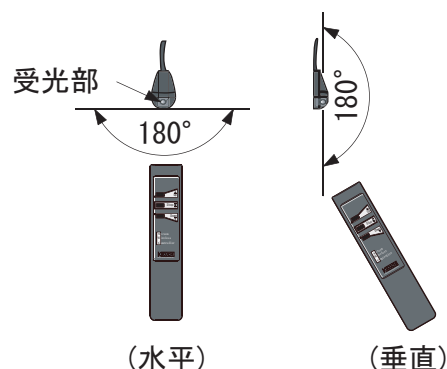


注意

- ・ スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを巻き戻すようにしてください。その際に虫等が付着していない事を必ず確認してください。
- ・ スクリーンの停止位置を変える場合(15ページ)は、代理店、又は施工業者にご相談ください。
- ・ 長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのACプラグをコンセントから抜いておいてください。

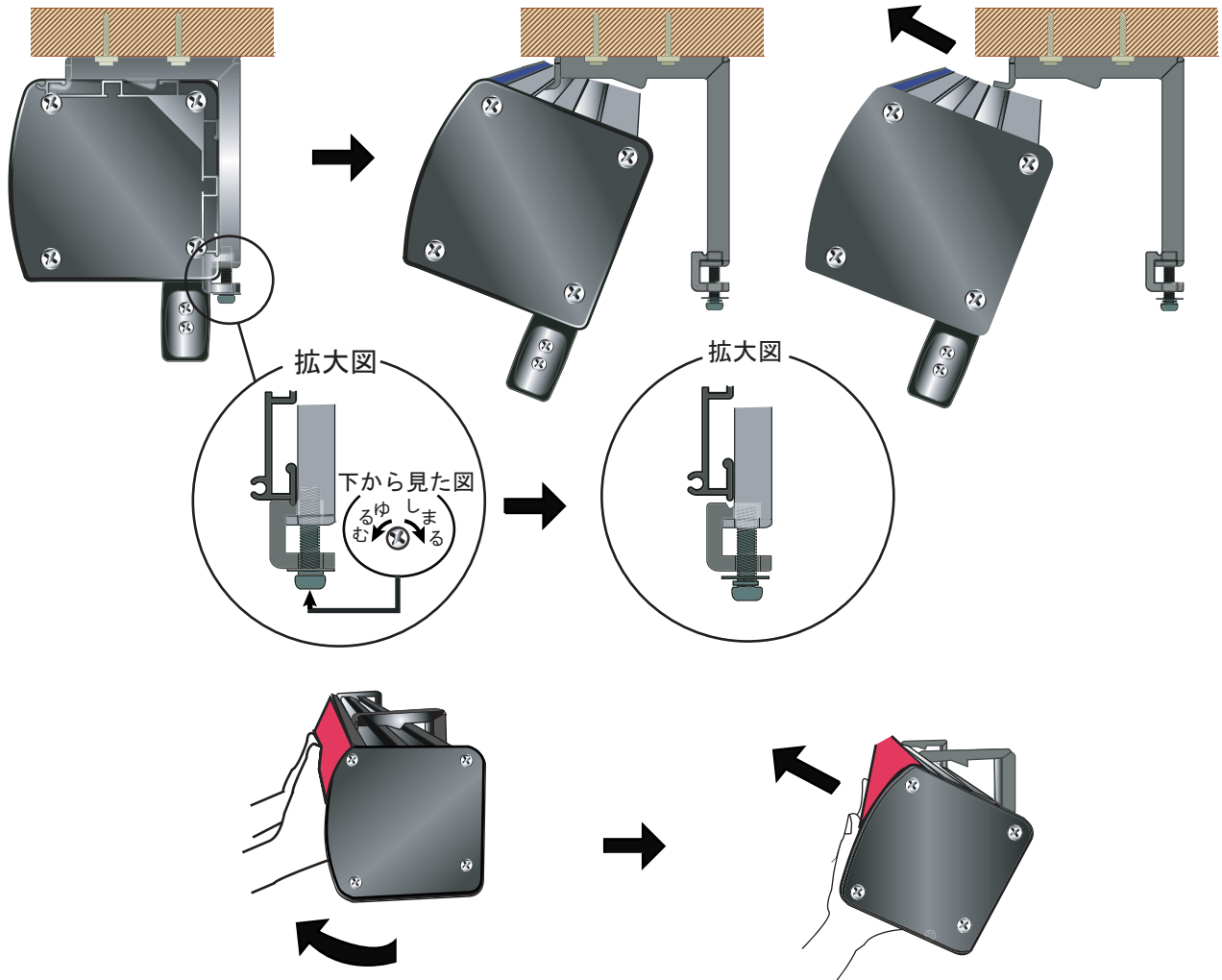
2. リモコンの操作範囲

リモコンの操作範囲は、受光部の中心に対して水平180°、垂直180°以内となっています。必ずこの範囲内にてご使用ください。これ以外の角度では動作しない場合があります。操作距離は最大で7mです。



スクリーン本体をとりはずす方法

セッティングブラケット⑨の固定用ネジ (M4×20mm) を+ドライバーでスクリーン本体が軽く前後にガタつくまでゆるめてください。リアケース⑧の背面の下部とフロントケース③をしっかり握り、手前に引いてブラケットストッパーからリアケース⑧の下面の突起をはずします。しっかりと待ったまま斜め上にスクリーン本体を引き上げてリアケース⑧の天井面の前部の溝部をセッティングブラケット⑨の先端から抜きます。



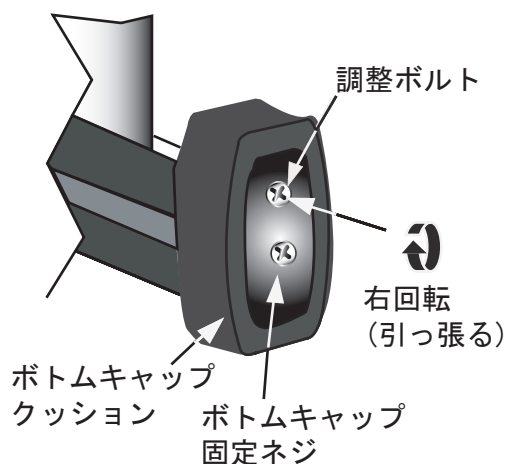
注意

- ・ セッティングブラケットにスクリーン本体を取りはずす時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ ブラケットストッパーからリアケース下面の突起がはずれた時に、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害や物的障害の発生の恐れがあります。

スクリーンのテンションを調整する方法

スクリーン下面是、工場での出荷検査の時に平面調整(左右の調整ボルト共に約3回転)を完了しておりますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

1. 調整ボルトを+ドライバーで右回転させて、スクリーンの下面にテンションをかけます。ボルトを1回転させると約0.5mm外側へスクリーンが引っ張られます。スクリーン下面のシワの状態を見ながら行ってください。この場合、最大で0.5回転から1回転の間で調整を終らせてください。これ以上回転させた場合2項のような症状になりますので、十分にスクリーンの状態を見ながら行ってください。



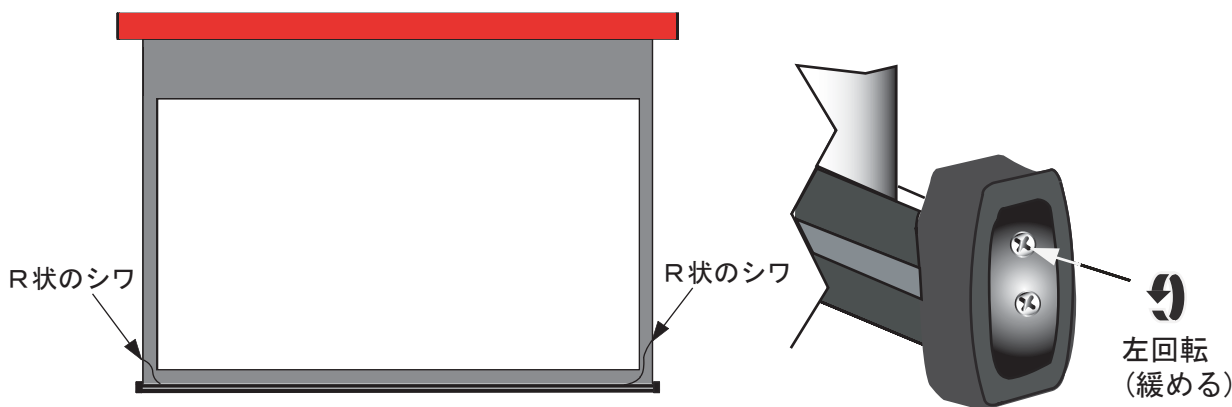
禁止

調整ボルトを回転させる時は必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねたりする恐れがあります。



調整ボルトの最大回転数は、出荷調整済の3回転を含めて左右共に4回転が限度です。

2. テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にR状のシワが発生する場合があります。この場合は、左回転させてR状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。



注意

- ・ テンションを掛けすぎた時は、調整ボルトを左回転させて一旦テンションを緩め2~3日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。
- ・ シワの性質によっては、完全に取り切れない場合もありますのでご了承ください。

電源や照明について

1. 電源 (AC100V)

電源 (AC100V) は、壁面のコンセントや天井にあらかじめ配線された単独の電源をご使用ください。



AV機器用の電源分配器 (パワーディストリビューター) での電源供給は、他の機器からの電源ノイズが廻り込み、受信機の誤作動を発生させる場合がありますのでご使用にならないでください。

2. 照明

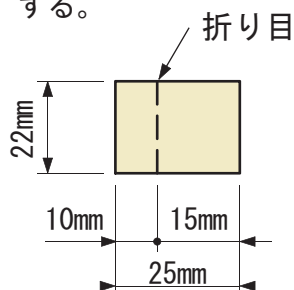
2-1. スクリーン本体を取り付けする場合は、天井の照明 (特にインバーター蛍光灯) から1m以上離してください。



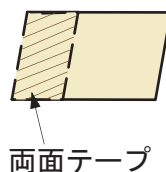
インバータ蛍光灯及びインバーター蛍光灯用本体機器のそば (1m以内) に設置した場合、インバーターから発生するノイズによって動作不能になる恐れがあります。

2-2. スペースの関係上1m以上の距離が取れずに取り付けする場合は、下記に指すような「遮へい板」を作って貼り付けしてください。

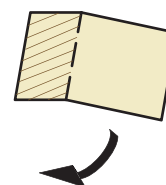
- ① ボール紙 (事務用) を下の寸法にカットする。



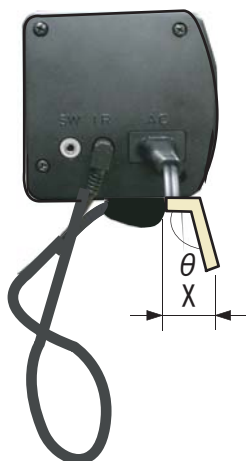
- ② 折り目の中の狭い方に両面テープを貼り付けする。



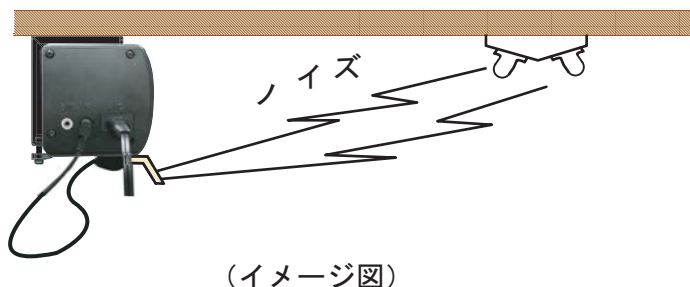
- ③ 折り目に沿ってある程度下へ折り曲げておく。



- ④ 受光器の前に貼り付けし角度を調整する。



θ (角度) = $130 \sim 145^\circ$
 $X = 20 \sim 23\text{mm}$



(イメージ図)



貼り付けの際に、受光器を完全におおわないでください。送信機からの信号を受光できなくなります。

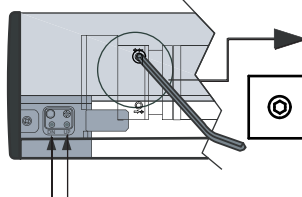
スクリーンの停止位置を変える場合

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は約250mmに設定されていますが、(工場出荷時)、スクリーンケースに内蔵されているリミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の位置に変更する事ができます。(ハイビジョンタイプの80HDおよび120HDは最大500mmまで、100HDは最大400mmまで。NTSCタイプは全機種最大500mmまで。)

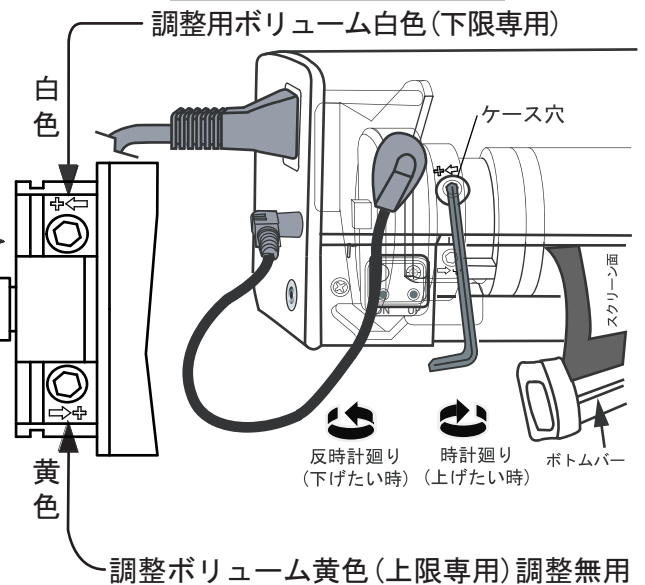
- ⊘ 調整用ボリューム黄色は、通常の設置時には調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。
- ⊘ 調整用ボリューム黄色は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

調整用ボリューム表示	
反時計廻り	+表示側
時計廻り	無表示側

※マニュアルボタン



左底面部(下から見た図)



スクリーン位置を下げたい場合

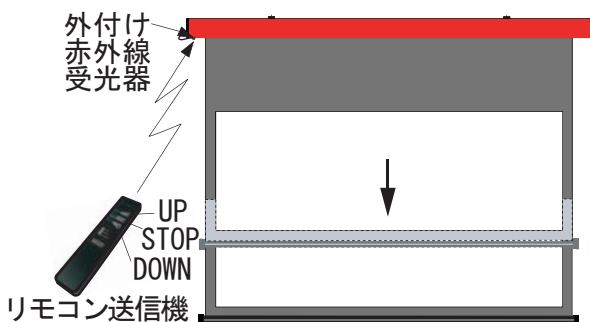
1. リモコンのボタンをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. リモコンのボタンはDOWNに入れたままにします。
3. 調整用ボリューム白色を反時計廻り(+表示)へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを1回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。)
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置を上げたい場合

1. 調整用ボリューム白色を時計廻り(無表示に2~3回、回します。(1回転で約25mm上がります。))
2. リモコンのボタンをUPにし、スクリーンを30~40cm上げます。
3. リモコンのボタンをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

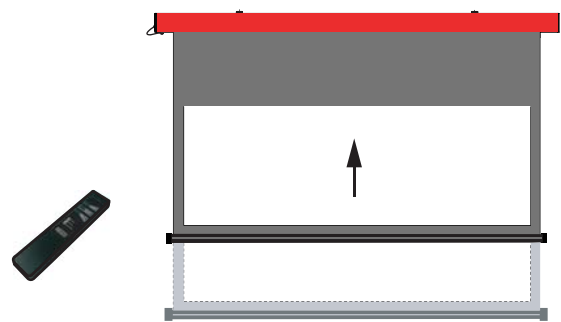
スクリーン位置が下がり過ぎた場合

「スクリーン位置を上げたい場合」を参照ください。



スクリーン位置が上がり過ぎた場合

「スクリーン位置を下げたい場合」を参照ください。



⊘ 調整用ボリューム黄色はUPリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整用ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。

⚠ 2分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが動きモーターは停止します。しばらく放置すると(15~20分)、サーマルスイッチが解除になります。(故障ではありません。)

トラブル時の対処

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。それでも修復できない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

① 本体コントロール部や外付赤外線受光器についての項目

症状	原因	対処
動作表示ランプが赤色(スタンバイ表示)に点灯してない。	本体コントロール部の電源コードが抜けている。	電源コードを正しく確実に差し込んでください。(10ページ)
	本体コントロール部と外付赤外線受光器が接続されていない。	一旦、本体コントロール部の電源コードを抜いてからミニピンジャックを確実に差し込んでください。その後に再度電源コードを差し込んでください。(10ページ)
動作表示ランプが変わらない。	外付赤外線受光器に直射日光が当たっている。	直射日光の当たらない場所に貼り付け位置を変更してください。(10ページ)
	外付赤外線受光器の近くにインバーター蛍光灯がある。	蛍光灯から1m以上はなすか点灯させないようにしてください。もしくは「遮へい板」を作成し、取り付けしてください。(14ページ)

② リモコン送信機についての項目

症状	原因	対処
リモコン送信機が機能しない。	リモコンに乾電池が入っていない。	⊕⊖の方向を確かめてから乾電池を入れてください。(4ページ)
	乾電池の寿命がきている。	新しい乾電池と交換してください。(4ページ)
	操作範囲をはずれて操作している。	決められた操作範囲の中で使用してください。(11ページ)

③ スクリーンの動作についての項目

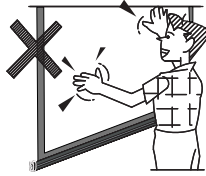
症状	原因	対処
スクリーンがまったく動作しない。	本体コントロール部の電源コードや外付赤外線受光器のコードが接続されていない。	①項の決められた手順に従っておのおのコードを接続してください。
	外付赤外線受光器に直射日光が当たったり、インバーター蛍光灯の近くにある。	①項の決められた手順に従って対処してください。
	リモコン送信機に問題がある。	②項の対処方法に従ってください。
	異常な電圧(静電気や雷)によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
スクリーンが所定の位置で止まらない。	異常な電圧(静電気や雷)によって本体コントロール部が破損した。	同上

注意

スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



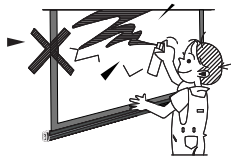
分解禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



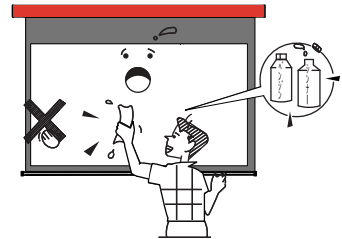
禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



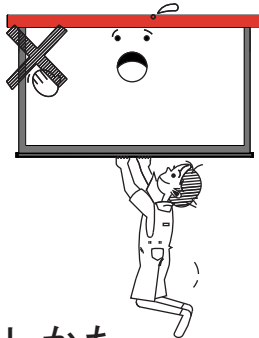
禁止



- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

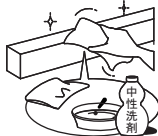


警告

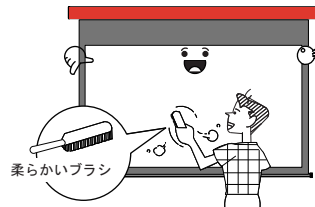


お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

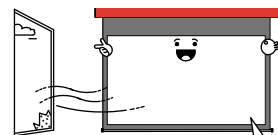


置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。



数日乾燥

メンテナンスノート



株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-34-6
MOA 402
事業部 TEL. 03-5979-9890(代) FAX. 03-5979-9891

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24
Y'sピアアクセス心斎橋7F
TEL. 06-6538-6070(代) FAX. 06-6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6
TEL. 048-422-3821(代) FAX. 048-422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>
KIKUCHI SCIENCE.LAB 2009.08 (SES) RW